

熊井の森通信

発行/熊井の森トラスト基金

〒350-0314 埼玉県比企郡鳩山町
楓ヶ丘2-2-1 かわせみハウス
NPO法人はとやま環境フォーラム気付
メール kawasemi3001@gmail.com

☎ 049-227-3001 (FAX兼用) ホームページ <https://hatoyama.info/>

今年最後の催し

はとやま環境フォーラム懇親会 & そのあと、来年なにをやるか相談タイム

12月18日(土) 午後1時半～4時 会場 かわせみハウス

参加費 無料 自分で飲みたいもの、食べたいものはご持参ください。



▲黄葉まっ盛りの熊井の森全景(ドローンで撮影)
この絶景を気球で上空からじっくり見てみたい!

今年は、年4回の写真学校、自然学校、それに石場沼谷津の休耕地やトラスト地の草刈りに加え、野鳥観察舎を建て、味覚満喫1日ツアーを成功させ、さらに、ハトムギ栽培から熊井の森カレンダーに撮影テキスト、「熊井の森の生きものたち」(改訂版)の発行、おまけ

に、なんと2本もの「熊井の森」プロモート動画をつくってしまうという、企画テンコ盛りの1年でした。

無事に年末を迎えられたのは、一重に皆さまのご協力のおかげです。お疲れさまでした。

というわけでコロナ禍ではありますが、出来る対策は講じた上で、慰労の懇親会を行います。といっても、ごちそうはありません。皆様の差し入れが頼りのさやかな集いです。

当日、午後2時から、日本ナショナル・トラスト協会主催「第39回日本ナショナル・トラスト全国大会」で、環境フォーラムのトラスト活動を紹介する動画「熊井の森」(5分)がYouTubeで全国にオンライン配信されますので、それを刺身に一緒に観た後に歓談しようという趣向です。

歓談の後は、適時、場合によってはグループに分かれて、来年どんな活動をしようか、企画、アイデアを話し合いたいと思います。そちらの方もぜひお付き合いください。

トラスト基金にご協力いただいた方も大歓迎です。皆様の参加をお待ちしています。

<トラスト活動報告>

■熊井の森「トラスト3・4号地」を取得

公益財団法人自然保護助成基金および公益社団法人日本ナショナル・トラスト協会の助成金で、10月10日、熊井字辻山の山林6167㎡と熊井字峯ノ谷の山林2973㎡を取得しました。この山林はピザ窯のすぐ上の山林で、入山者による環境負荷をコントロールし、熊井の森全体の保全にも寄与できる価値あるトラスト地です。

■熊井の森「トラスト4・5号地」取得へ

このほど、2022年度ナシ

ョナル・トラスト活動助成が決定しました。これは前記の助成金と同じく、熊井の森でのトラスト活動5ヶ年計画の3年目の事業として申請したもので、トラスト地購入資金と現在借りている山林の賃料、およびトラスト地管理作業のための費用を含めた180万円が助成されます。

購入山林は石場沼の上手にある3筆で面積2638㎡、石場沼の水源地域に位置する湿地帯で、トウキョウサンショウウオなどの水生生物の生息場所であり、熊井の

森の生きものたちのえさ場にもなっています。周回散策木道を整備すれば、谷津の自然観察フィールドに生まれ変わるでしょう。



活動報告

■第2期「熊井の森SATOYAMA自然学校」開校へ

今年は、里山づくりのスタッフ養成の場として、里地里山の大切さを市民レベルで学ぶ体験型研修セミナーを開講しました。来年はその第2期事業として、「熊井の森を含む里山保全のためには自然環境保全はもちろんのこと、歴史・文化資源を含めた地域の多様な資源を丸ごと生かした地域づくりの視点が重要である」との観点から、「熊井学」創生に向けて、熊井地区の地域おこしのための「地域の歴史と魅力再発見」にスポットを当てた連続公開講座を開講します。

阿部治先生にひきつづき自然学校の校長を務めていただけます。連続講座は次の講座を予定し、これから候補者講師に打診します。会場はいずれも上熊井集落センターです。

【熊井学創生に向けて】連続公開講座

第1回講座「里山と子どもたち」7月開校予定

第2回講座「鳩山窯跡群が語る里山の暮らし」8月開校予定

第3回講座「SDGs 鳩山版と熊井学」10月開校予定

SOMPPO環境財団の「2021年度環境保全プロジェクト助成」に申請中です。

■懇親会で「ハトムギ茶」をモニター頒布販売

お待たせしました！はとやま環境フォーラム物販部(?)が開発した新商品です(笑)。熊井の森のふもとの休耕地の畑をお借りして種まきして育てたハトムギです。1袋100g入りで300円でモニター販売します。ご賞味ください。皆様のご意見をもとに来年の作付け計画をつくりますのでご協力をお願いいたします。



■2022年熊井の森カレンダーと撮影テキストが完成



今年もカレンダーを作りました。今回は5年間、講師を務めてこられた三森典彰さんの作品で構成しましたので、一味違ったカレンダー

になっています。それと、三森先生のご協力を得て、写真教室の座学の教材だったPDF版の撮影基本テクニック解説を一冊にまとめた「ネイチャー写真の撮影テキスト」も作成しました。

ご希望の方には贈呈します。ただし、送料の300円だけをご負担下さい。なお、現在、このカレンダーとテキストと小冊子「熊井の森の生きものたち+暮らしと文化」の3冊セットを、鳩山町の小学高学年(4、5、6年生)と中学生の全員に学校で配布していただけるよう教育委員会に要望中です。

熊井の森ギャラリー<003>

第5期第2回(7月3日)熊井の森写真学校参加者作品



▲撮影/上野生萌



▲撮影/根岸廣行



▲撮影/徳永由紀子



▲撮影/田子聡